

# にっこう

## お知らせ版

平成3年2月15日

### 救急者搬送人員 (平成2年)

種別	平成元年度	平成2年度
急病	346 (153)	301 (134)
交通事故	210 (44)	234 (37)
一般負傷	113 (19)	88 (27)
運動競技事故	11 (2)	12 (3)
労働災害事故	17 (5)	9 (3)
自損行為	6 (1)	8 (2)
加害	4 (1)	6 (2)
水難事故	0 (0)	2 (0)
火災事故	0 (0)	1 (0)
自然災害事故	1 (1)	0 (0)
その他	70 (25)	67 (30)
計	778 (251)	728 (238)

( ) の数字は日光市民

## まず消そう 火への鈍感 無関心

### 三月一日から一週間 全国火災予防運動を展開

春季全国火災予防運動が、三月一日から七日まで「まず消そう 火への鈍感 無関心」をスローガンとして実施されます。

今回は、

①物品販売店舗、旅館、ホテル等不特定多数の方が出入りする防火対象物に係る防火安全の確保

②社会福祉施設、病院等自力避難が困難な方が多数入所している施設における防火安全の徹底

③住宅防火対策の推進

④地域における防火対策の推進

このほど日光地区消防組合では、昨年一年間の消防統計をまとめました。消防統計の主な内容は次のとおりです。

### 平成二年度の消防統計まとめ

#### 火災

昨年の火災発生件数は十八件(日光市十五件、足尾町三件)と、一昨年より七件増えています。

出火の原因は、ただこの不始末五件、ガスコンロの取扱不注意とたき火の不始末が各二件などとなっています。

火災発生の種類では、建物八件、車両が六件、林野とその他が各二件などとなっています。

火災による損害額は四千七百二十三万六千円で、一昨年より三千百一十四千円と大幅に増えています。

#### 救急

くれぐれも、火の取扱いには十分注意しましょう。

急病人や交通事故などで出動した救急活動では、七五六件で、過去最高だった一昨年より八三件減っています。

原因別では、急病がトップで三二五件(前年三八八件)、次いで交通事故二〇一件(同一九二件)、一般負傷一〇四件(同一三三件)などとなっています。

また、一年間に救急車が搬送した人員は七二八人(前年七七八人)でしたが、このうち日光市民は二三八人(同一五一人)で、外来者が六七%(同六八%)を占めていることが、観光地日光の特色を示しています。

#### 山火事に

#### ご用心

今年も、山火事が多発する時期になりました。山火事の原因は、ただこの不始末やたき火、火遊びなど不注意によるものがほとんどです。

私たちの大切な森林資源を一瞬のうちに灰にしてしまう山火事。恐ろしい山火事を発生させないように、次のことにご注意ください。

#### ご存じですか

#### 防災ミニ百科

- たき火をした時は後始末を完全にします
- たばこの吸がらは必ず消す
- 車からたばこの吸いがらを投げすてない
- 強風、乾燥注意報発令時には、火の使用を避ける
- 「火入れ」は、必ず許可を受けること
- なお、万一山火事を発見したら、消防署(☎二一九)へご連絡ください。

テレビによる防災キャンペーンの二月と三月のテーマが決まりましたので、お知らせします。ぜひごらんください。

● 放送局と放送時間  
日本テレビ 午前十一時二十五分から五分間

● 放送日とテーマ  
二月二十一日 災害弱者の安全を考える(火災から幼児を守る)

● 二月二十八日 住宅防火に取り組み(春の火災予防運動、三月一日〜七日)

● 三月七日 今日は消防記念日(ある消防団をたずねて)

● 三月二十一日 日ストップ・ザ・天ぶら油火災

● 三月二十八日 家庭の防火は主婦の手で